

主な出来事

【内政】

- 6月12日、アンゴラ政府、業界団体及び労働組合は、最低賃金を現在の7万クワンザから12ヶ月かけて約10万クワンザまで引上げることに合意した。
- 6月22日、ルアンダ市にて「国民の貧困化、国家不安(交通費の上昇、高失業率、犯罪増加)」 「ロウレンソ大統領の3期目の可能性」に対する抗議及び「政治犯の自由」を求めるデモが実施され、約16名が逮捕された。

【外交】

- 6月4日、アンゴラ政府は、韓国貿易保険公社(K-SURE)と再生可能エネルギー事業等における投資保護に関する覚書に署名。5日には、K-Rice Beltに関する覚書に署名した。
- 6月5-6日、ワシントンD.Cで開催された第1回アンゴラ米国防衛協力合同委員会にて、両国政府は軍隊間のより緊密な後方支援を可能とする物品役務相互提供協定に署名。
- 6月21日、カルロス・ドス・サントス公共事業・都市開発・住宅大臣は、中国国営企業CRBCとの間でアンゴラ初の高速道路建設(総距離約1,400km)につき合意した旨発表。

【経済】

- 6月13-15日に開催されたG7サミットにて、伊メローニ首相はロビト・アトランティック鉄道会社(LAR社)による鉄道区間新設に3億2,000万米ドルを上限とした投資を約束。また、英国はクリーン・エネルギーと送電インフラ・プロジェクト及びロビト回廊沿いの地質調査に5,000万米ドル以上を投資する旨発表した。
- 国家統計局(INE)によれば、5月のインフレ率は前月比2.49%、前年同月比28.20%を記録。
- LAR社は、南ア企業ガソリン・マニュファクチャリング社に275両の新型コンテナ貨車を発注したと発表。
- ヴィクトル・レド当地国際通貨基金(IMF)代表は、2018~2021年に行われた拡大信用供与(EFF)に基づくアンゴラ政府の債務額は総額約44億米ドルに上り、うち約28億米ドルが2028年までに返済されるとの見込みを発表した。

* 本月報は当地主要紙 Jornal de Angola 紙を中心に、月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです。

内政

1. 汚職防止国家戦略の承認

6月3日、閣僚委員会においてロウレンソ大統領は汚職防止国家戦略を承認。汚職とそれに関連する犯罪の防止、摘発、抑圧を通じ、グッド・ガバナンスや公的機関に対する市民の信頼強化、官民セクターでのグッドプラクティスの適用を実現していく考え。

2. 中南部における地震の発生

6月5日、ナミベ州モサメデスから約142キロの沖合を震源とするマグニチュード5.4の地震が発生。アンゴラ中南部(ナミベ、ビエ、ウイラ、ベンゲラ、クワンザ・スル)で揺れが観測されたものの、死者や物的損害等はなかった。

3. 暗号通貨マイニングによる中国人の逮捕

6月11日、ルアンダ州ヴィアナ市において、暗号通貨や仮想通貨のマイニングを行っていた中国人逮捕された。アンゴラでは国内法でマイニングが禁止されており、懲役3~12年の罰則が与えられる。

4. 国家情勢に対する抗議デモ

6月22日、ルアンダ市サンパウロ広場で「国民の貧困化、国家不安(交通費の上昇、高失業率、犯罪増加)」「ロウレンソ大統領の3期目の可能性」に対する抗議及び「政治犯の自由」を求めるデモが実施され、約16名が逮捕された。

5. バッハド・ダンテ経済特区建設の開始

6月24日、バッハド・ダンテ経済特区の着工式にて、ジャーファル・カキス在アンゴラ・ドバイ投資社プロジェクト管理責任者は、同特区には工業・商業・住宅・クリエイティブ目的に利用される建築物20万棟が建設され、約1,500人の直接雇用が創出される見込みである旨発言。16ヶ月かけて約1.5億米ドルが投じられる予定の第1段階の工事

(全3段階)では、工業団地、ゴルフ場、リゾート施設等が建設される予定。

6. 最低賃金の引上げ

6月26日、アンゴラ政府は最低賃金の引上げにかかる大統領令を承認。これにより最低賃金は7万クワンザとなり、更に今後1年間かけて10万クワンザへと引上げられる。なお、零細・スタートアップ企業については5万クワンザとなる。

外交

1. 中国との投資協定の締結

6月3日、ロウレンソ大統領は、アンゴラ共和国政府と中華人民共和国政府との間で締結された「投資の促進と相互保護に関する協定」を正式に承認した。この協定は経済分野をカバーし、両国間の貿易関係の強化と投資の安全性の確保を目的としている。

2. アンゴラ政府の2024韓国・アフリカサミットへの参加

6月4-5日、韓国のソウルで2024韓国・アフリカサミットが開催され、アンゴラからはジョゼ・デ・リマ・マサーノ大統領府経済調整担当大臣率いるアンゴラ政府派遣団が出席。

3. 韓国との覚書の締結

6月4日、アンゴラ政府は韓国産業通商資源部に属する輸出信用機関である韓国貿易保険公社(K-SURE)と再生可能エネルギー事業等における投資保護に関する覚書に署名。

5日には、K-Rice Belt(米の生産における知識及び技術を提供する韓国のアフリカ支援プロジェクト)に関する覚書に署名した。

4. 米国との軍事協力関連文書への署名

6月5-6日、ワシントンD.C.で第1回アンゴラ米国防衛協力合同委員会が開催。同委員会において、両国軍隊間のより緊密な後方支援を可能とす

る物品役務相互提供協定に署名。また、第2回委員会を2025年にルアンダで開催することで合意。

5. 「ロシアの日」における動向

6月12日、ロウレンソ大統領は「ロシアの日」に際するプーチン大統領宛の祝辞を発出し、両国の長年にわたる歴史的な友好関係を引き続き強化していくことへの期待を表明。同日、当地ロシア大使館主催の祝賀行事が開催され、テテ・アントニオ外務大臣ほか政府関係者に加えて、最大野党UNITAの議員が招待された。

6. アフリカ連合平和安全保障理事会議長国への就任

6月17日、ミゲル・ベンベ駐エチオピア／アンゴラ大使（アンゴラのアフリカ連合常任代表）は、アンゴラが7月から、アフリカ連合平和安全保障理事会の輪番議長国に、任期2年間（2024-2026年）にて就任することを発表。また、アフリカ大陸機構の主要機関の一つとして、同国が際立つ機会を提供するものであるとも述べた。

7. 中国企業による高速道路建設に関する合意

6月21日、カルロス・ドス・サントス公共事業・都市開発・住宅大臣は、中国国営企業CRBCとの間でアンゴラ初の高速道路建設につき合意した旨発表。右はアンゴラを南北に縦断し隣国ナミビアとコンゴ（民）に接続する官民連携事業であり、総距離は約1,400kmに及ぶ。

経済

1. 天然ガス生産量の増加見込み

天然ガス回収・処理プラントを運営するAngola LNG社は、2025年第1四半期において天然ガスの生産量を現在の7億標準立方フィート（scf）から10億scfに増加するとの見込みを発表。

2. 貿易額の推移

2024年第1四半期の輸出額は約88億2,180ドルとなり、原油生産量の増加により昨年同時期と比べて1.85億米ドル（2%）増加。一方、輸入額については、外貨不足によるクワンザ安に起因して昨年同時期よりも8.5億米ドル減少し、約31億9,470米ドルとなった。

3. 伊・英国によるロビト回廊への投資

6月13-15日、G7プーリア・サミットがイタリアにて開催された。サミット中、メローニ伊首相はマッティ・プラン及びPGIに基づき、米国と欧州連合（EU）が主導するロビト・アトランティック鉄道会社（LAR社）への3億2,000万米ドルを上限として、新しい鉄道区間（800km）への投資を約束。

また、英国はクリーン・エネルギーと送電インフラ・プロジェクトへの支援及びロビト回廊沿いの地質調査のための資金として、5,000万米ドル以上の投資を発表した。

4. 5月のインフレ率

国家統計局（INE）によれば、5月のインフレ率は前月比2.49%、前年同月比28.20%を記録。

5. ロビト・アトランティック鉄道会社（LAR社）による南ア企業への新型コンテナ貨車の発注

6月19日、ロビト回廊における鉄道インフラの運営・管理・保守のコンセッション保持者であるLAR社は、南ア企業ガソリン・マニュファクチャリング社に275両の新型コンテナ貨車を発注したと発表。

6. 国際通貨基金（IMF）に対する債務返済

ヴィクトル・レド当地IMF代表は、2018～2021年にかけて行われた拡大信用供与（EFF）に基づくアンゴラ政府の対IMF債務は総額約44億米ドルに上り、右総額の70%に相当する約28億米ドルが2028年までに返済されるとの見込みを発表した。

7. ロビト回廊開発の経済効果

LAR 社のオットニエル・マヌエル執行役は、LAR が管理するベンゲラ鉄道がコンセッション契約期間の30年間のうちに国内総生産に年間約16~34億米ドル貢献するとの見込みを発表。また同氏は、1日あたりの運行貨物車数を50本まで増加させる予定であり、コンゴ(民)及びザンビアにて採掘された銅資源等の重量貨物輸送において、約1,600人の直接雇用を創出するとの予測を述べた。

8. アンゴラ政府による GDP 成長率予測

6月26日、オットニエル・ドス・サントス財務副大臣(財政・公庫担当)は、アンゴラのGDP成長率は農業・漁業・工業・インフラ・エネルギー・サービス業等非石油部門の貢献(成長率5.32%)により、2.84%になるとの予測を発表。GDPは約1,060億米ドルになる見込まれる一方、1人あたりGDPは約3,500米ドルに留まる見通し。

(了)